



護持会報告
 報恩講
 子供会報告
 十月二十九日(土)午前十一時勤修
 詳細は二頁
 詳細は三頁
 詳細は四頁



住職法話

光照寺寺報
 発行所
 真宗大谷派 弘興山
 宗教法人光照寺
 〒331-0821
 さいたま市北区别所町102-2
 電話：048-651-2781(代)
 FAX：048-651-2753
 E-mail
 yasuragi@beige.ocn.ne.jp
 ホームページ
 http://koshoji76.jp
 発行人 住職 池田孝三郎



お盆法要



お盆法要

護持会総会報告

淡海雅子

二〇二一年度第二十三回光照寺護持会総会が六月十四日十三時から光照寺本堂において開会されました。参加者は二十二名でした。

動行に引き続き、会員全員で婦人部の皆様に合わせて仏教讃歌「真宗宗歌」を唱和しました。

本年度は初めて平日での総会となりましたが、皆様のおかげで歴史を重ねてこられましたとご住職様より挨拶を賜りました。「真宗宗歌」には真宗の真髓が謳われております。一連の全ての行事に念仏の心を頂いていくことが大切であるとお話を頂きました。

総会は平山正三氏を議長に議案に入りました。前年度の護持会の活動実績及び、護持会の収支決算と監査が報告され全会一致で承認されました。今年度の活動計画案及び、今年度の収支予算案が提案され何れも原案通り可決承認されました。御任職様より開法会、年間行事・サークルの紹介がありました。大塚氏より子供会の紹介と参加のお誘いがありました。コロナ感染症が幾分落ち着いてきました。予断を許さない昨今です。行事・活動が短縮変更されるなど影響が心配されますが多くの方のご参加

を願っております。護持会活性化のための親睦旅行は様子を見て引き続き検討していきます。

護持会費の納入に関して振込料を会員の負担とする案が提案され同意を頂き可決いたしました。

奥田隆史氏に光照寺総代と護持会庶務の委嘱状が授与されました。引き続き絵解きサークルによる「真宗クイズ」の催しがあります。

た。御本尊のお姿を拝していただき、御本尊の細かな解説を伺いました。又、あらためて真宗の作法を確認するなど有意義で楽しい時間を共有いたしました。

最後に全員で仏教讃歌「恩徳讃」を唱和し閉会いたしました。今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



総会



婦人合唱



司会山根氏



絵解き1



絵解き2



絵解き3



絵解き4



絵解き5



奥田氏へ委嘱状授与



親鸞聖人

報 恩 講

- ・10月29日(土)
- ・午前11時～3時頃(10時30分受付)
- ・場所 光照寺本堂
- ・法要勤修
- ・講師 隆 彰見先生(能登教区・聖徳寺住職)
- ・講題 「十方衆生 一聞く身をいただくー」

先生よりメッセージ:

「地球上、世界中でいろいろな出来事の中に身をおいて生きている私たち、戦争(侵攻)、コロナ感染症、温暖化等、他人事のように見聞きをいたしながら目を閉じている私たちに一人一人の責任があるのではないのでしょうか。コロナ禍で集まる事が悪いとされ、先達の方々が相続された講(集い)聞法の出来ないご時世はまさしく法難と申すべきです。

報恩講をお迎えし御門徒皆様と阿弥陀さまの前に身をおき勤まる事のお慶びをお味わい出来ればと願います。」

※準備の都合上、出席の際は、10月22日までにお寺にご連絡下さい。

午前 10:30	受付
11:00	勤行
12:00	お斎(食事)
1:00	法話 質疑応答
3:00頃	終了予定

報 恩 講

【報恩講は宗祖、親鸞聖人のご恩徳に報謝し、いのちの道理を深く尋ねる法要で、一年の中で最も大切な仏事です。真宗門徒として必ず勤める法要であり、光照寺の今年度最後の大きい法要ですので是非ともご参詣下さい。】

勤修致します。ご家族、縁者お誘い合わせの上、多くの方々のご参詣をお待ちしております。

住職(釋徹照)

本年は隆彰見先生(能登教区・聖徳寺住職)をお迎えして報恩講を



ひとくち 歎異抄

羅漢:「念仏には無義をもって義とす。」はいかに。第10章



「不可称不可説不可思議のゆえに。」上人のおおせにあらざる異議どもを、近來はおおくおおせられおうてそうろうよし。

川越喜多院の五百羅漢

子供会報告

光照寺子ども会 ポニークラブ、
社会科見学(プラネタリウム)

住職 池田孝三郎

七月二十八日(木)、午前十一時より子供五名、大人八名の参加で子供会を開催しました。お寺で勤行、自己紹介のあと、坊守よりお盆のお話し、大間真弓さんの絵本の読み聞かせ、食事をして、さいたま市青少年宇宙科学館へ向かいました。

プラネタリウムを鑑賞して館内見学。最近のプラネタリウムは工夫を凝らして飽きさせないようになってきているのは驚きました。暑い夏でしたが子供的笑顔を見ると元気がもらえます。

次回は、十二月二十六日(月)を予定しております。お子様、お孫様とご一緒にお寺で過ごす貴重な時間を共有しましょう。ご参加ご希望の方はお寺に連絡下さい。皆様のご参加をお待ちしております。





トモヨ先生

お寺でヨガを毎週月曜10時〜11時開催しています。インストラクターはトモヨ先生。南インドの先生より古典ヨガを習得。初めての方も歓迎です。ご興味の方は当寺までお問い合わせ下さい。

寺ヨガ

鈴の音
 すべての自力は、
 他力にささえられて
 あったんだ
 鈴木章子
 (「還るころはみなひと」より)

真の依り処
 浄土真宗の教えとは、南無阿彌陀佛を称えるのは何のためですか。他力本願はひと任せの意味ですか。浄土に往生成佛って、死んだ人が生きているって、人にとたららないようにするって、衆生凡夫ってなんのこと、仏教って良い人になるための教え、自分だけが救われればよいの、本当の宗教に出会うためには、深く生きるとは、浄土という教えによって穢土を生きてゆき迷いが迷いだとあきらかになり、迷いを穢土として浄土を開きその人に与えられた尊い試練逆境にきたえられた人は強靱であり不屈の精神で生きられると。誰れもが思い通りの人生を歩む事が出来ないのちです、素直にその境遇に生きたいものです。本当を求めた人に学び気づきと発見に出遇い喜びと感謝を頂きましょう。
 南無阿彌陀佛
 岡田 ノリ子

お知らせ

寺務所より

●報恩講

十月二十九日(土)午前十一時より勤修。講師は隆彰見先生(能登教区・聖徳寺住職)

●修正会

二〇二三年一月一日元旦、午後一時より勤修。新年を阿弥陀如来のご尊前より出発致します。

◆聞法会のお知らせ

●親鸞聖人のみ教えに聞く会は休会。講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授)

●大経の会

十月は報恩講、十二月十三日。午後二時〜午後四時。講師は住職。細川巖著『正信偈讃仰』(七)を学んでいます。

●我聞の会

十月二十六日、十一月三十日、十二月七日。午後二時〜四時。講師は住職。『歎異抄』を学んでいます。

●微風学舎

十月二十日、十一月十七日、十二月一日。午後二時〜四時。講師は住職。『高僧和讃講義(二)』延塚知道著を学んでいます。

◆真宗に学ぶつどい

十二月二十一日、午後一時三十分〜四時。会場は證大寺、講師は井上城治氏。

◆サークル

●聲明サークル 十一月八日。午後二時〜四時。講師は住職。

●絵解きサークル 十月十四日、十二月十六日。

◆子供会

十二月二十六日(月)。冬休み企画。

◆寺ヨガ

お寺でヨガ。毎週月曜十時〜十一時。講師トモヨ先生。興味ある方はお問い合わせ下さい。

◆お願い

ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。マスク着用と換気を宜しくお願い致します。

住所・電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。

俳句・川柳

吉澤 光昭

みまかりし父母はこの時季菊が好き
秋灯天井久しき山家かな
農道にペダル一漕ぎ秋うらら
天高く今ふれにけり三角点
横手山パン屋の煙馬肥ゆる

短歌(詩)

佐々木 玄吾

妻米寿 共に過ごせし 六十三年
思いの品 内にも外にも

病院へ 向って進む 妻の背は

四肢たくましく 力あふれる

釋尼 邦照

遺く夫と 逢いがたきし仏法を
共にあゆみて よろこび伝う
早朝の 愚庵の水ぎわふと見ると
一本のシソの葉 ほほ笑みかえす

釋尼 眞教(大間眞弓)

ゆくりなく 流行病に 侵されて
生かされし身の 有り難き哉
床上がり 光も影も 打つ風も
頼りの聲の 思し召しなり

篠原 潤子

やわらかい 筋肉ならず 快食と
快眠快便でも 不健康
ニッコリと 笑わなかつた今日という
二度とない日が たそがれてゆく
一時間 立ちっぱなしで講演す
澁沢翁の 百歳の孫
スマホより ハガキで返事書く吾は
自分のペース これをつらぬく
生前に 夫の書いた心経を
毎朝拝む 南無阿弥陀仏

・前号、山田氏の画に配置の誤りがありましたのでお詫び申し上げますとともに再掲載します。



ロバハウスへの入口
山田 邦興 画



赤いバラ
山田 邦興 画

梵鐘

先日、息子の十三回忌法要を終えました。近しい親族が久々に集いました。法要の後の食事会で話題となったのは、この十二年間にお浄土に還られた人々のこと。そして新しく生まれた子供達のこと。昔の懐かしい思い出話など。今、息子は還相の仏となつて、私の前に立ち現れている。「俱会一処」。

息子の死が縁となつて光照寺の聞法会に通いました。そして実家の宗旨である真宗の教えを再発見しました。父母、ご先祖、多くのご縁を頂いた方々に感謝致します。「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え」。

藤原自雄 合掌